

99 ISM 研究会

日時

11 月 28 日

14 時 30 分

場所

立教大学 5号館

院生控室

教室

テキスト/テーマ

『セーフティネットの政治経済学』

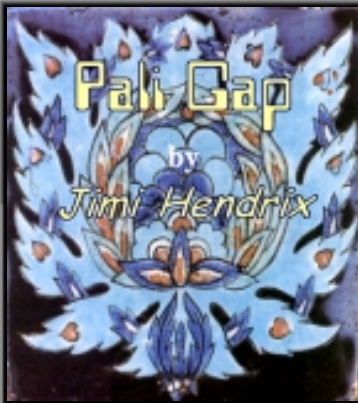
編者/著者

金子勝

出版社

筑摩書房(ちくま新書214)

範囲

第4~6章,
エピローグ

後半期 第3回/通算 第65回

ご案内-詳細

『セーフティネットの政治経済学』の理論的な部分(セーフティネット論)は大体終わり、いよいよ実践的な部分(具体的な政策提言)に移っていきます。その際の基調は、“今回の長期不況から脱出するためには、市場の無制限な拡大、規制の無制限な緩和ではなく、セーフティネットの再構築が必要だ”ということです。これによって、金子さんは、市場と制度との調和による市場の活性化を目指しています。

報告者

人名	割当
小湊 浩二	第4,5章
城戸 慎太郎	第6章,エピ

出欠

 出席 欠席

OK

Cancel

Replace

『セーフティーネットの政治経済学』の理論的な部分（セーフティネット論）は大体終わり、いよいよ実践的な部分（具体的な政策提言）に移っていきます。その際の基調は、“今回の長期不況から脱出するためには、市場の無制限な拡大、規制の無制限な緩和ではなく、セーフティネットの再構築が必要だ”ということです。これによって、金子さんは、市場と制度との調和による市場の活性化を目指しています。

第4章は、グローバルスタンダードと呼ばれているものが実はアメリカスタンダードであって、その無防備な導入は危険であるということを主張しているようです。第5章は、時代に合わなくなったセーフティネットを再構築するのに必要な制度改革の要点を述べているようです。第6章は、制度改革の財源問題とそれに必要な社会福祉体制・地方自治体制の変革とについて政策を主張しているようです。

『セーフティーネットの政治経済学』は今回で終わる予定です。ISM研究会では、今後読んでいくテキストを募集しています。面白そうな本があれば、ご紹介ください。また、個人報告も歓迎します。何か報告したいテーマをお持ちの方は、お申し出ください。

